

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年2月26日

事業所名 キッズステーションみらe

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			現在、1名のご利用状況であり、スペースも十分にあるが、今後のご利用状況を見て仕切り等が必要か判断したい。
	2 職員の配置数は適切である	○			職員配置基準を順守し、適正な職員を配属している。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			設備、備品等について整備しているが、改善する箇所が無いが、今後の使用状況を見ながら検討していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃により、清潔を保持するよう心がけている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎月のユニット会議で実施し、職員が参画している。日々のミーティングにおいても振り返りを行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			今年度より評価を実施する。保護者のご意見や職員の意見を集約し、業務改善が必要な事項について検討する。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		今年度より実施する。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今年度4月より事業開始している。今後、検討する。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修への参加が難しい状況であったが、オンライン研修への参加や、事業所内でもZoomの活用や動画資料を作成し、研修の機会を設けるようにしている。	事業所内外の研修を計画的に実施予定であったが、現状は新型コロナウイルスの影響により縮小傾向にある。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		担当者会議の中で、ニーズや課題を抽出し、計画に反映させる。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日々のミーティングで意見交換や毎月の会議で立案している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		日々のミーティングで支援内容および役割分担している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		ケアコラボ(ウェブ上の記録媒体)により、画像も活用し、その時の状況を記録している。		

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		相談支援員と保護者と一体でモニタリングが出来るよう、極力努めている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者、職員も参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				現在、医療的ケアが必要な子どもが利用されていない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				現在、医療的ケアが必要な子どもが利用されていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				今年度は、該当する子どもが、情報共有できる体制を整える。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				今年度は、該当する子供がいなかったが、情報共有できる体制を整える。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			現在は、該当するお様がいらっしゃらないが、情報提供出来るように努める。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		保護者のご要望も聞きながら、来年度検討していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			施設長が参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		現在、ご利用は1名であるが、訪問支援を行っている。	職員のペアレント・トレーニングインストラクター養成講座の受講を検討していく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に重要事項説明書をもとに説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			ケアコラボと連絡帳を活用している。必要に応じて、お迎え時などでもお伝えしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		父母の会や保護者会等はないが、保護者のご意見もお聞きし、保護者総会等の開催を検討する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			契約時に重要事項説明書をもとに、苦情等の受付窓口から苦情解決責任者など説明している。苦情要望については、課内の連絡会、法人の経営会議、第三者委員会でも取り上げ、対応した結果についても評価している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月のみらe新聞の発行や必要に応じ、情報を伝達している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			個人情報に関わる案件があった場合は、職員会議等で周知している。また入職時にも説明し、誓約書を提出している。子どもの写真掲載等がある場合は、事前に承諾を得るようにしている。

	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	毎年、法人の夏祭りを実施し、地域住民も参加して頂いている。	新型コロナウイルス感染拡大で今年度は中止となった。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			マニュアル、規程は整備されているが、保護者総会などで周知する機会を設ける。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		防災訓練は年2回実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時にアレルギー等を含め、保護者より診断書など情報提供して頂き、食事に配慮している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		対象者がいないが、契約時にアレルギー等の有無について、保護者より診断書など情報提供して頂き、食事に配慮するようにしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		課内連絡会でヒヤリハットや事故報告をしている。また法人内グループウェアを使用して、事業所職員にも周知している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		四半期に1回、虐待防止に関するアンケートを取り、課内連絡会や職員会議で報告、啓発している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束廃止委員会で審議し、承諾を得て実施する事としている。	継続して実施する必要性があった場合は、承諾を得て支援計画に記載いたします。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和3年2月26日

事業所名 キッズステーションみらe

保護者等数(児童数) 1

回収数 1

割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1					現在、1名のご利用状況であり、スペースも十分にありますが、今後のご利用状況を見て判断したいと思います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	1					職員配置基準を順守しています。適正な職員を配属しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1					設備、備品等について整備しておりますが改善する箇所が無い、お子さまのご使用状況を見ながら検討していきたいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1				ケアラボで見ることができる。	毎日の清掃により、清潔を保持するよう心がけています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	1					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか			1			
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1					
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	1					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか						今後は、ご要望をお聞きし、他事業所やコミュニティとの交流も検討したいと考えています。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1					契約時に重要事項説明書をもとに、ご説明しています。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	1					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか				1		職員のペアレント・トレーニングインストラクター養成講座の受講を検討していきます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	1					ケアラボ(ウェブ上の記録媒体)を活用して、スマホ等から日々の様子がタイムリーに見る事が出来る体制を整え、情報共有出来るようにしています。

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1				ケアコラボと連絡帳を活用しております。また必要に応じてお迎えの際にお伝えする事もあります。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			1		保護者のご意見もお聞きし、保護者会等の開催を検討していきたいと思っております。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1				契約時に重要事項説明書をもとに、苦情等の受付窓口から苦情解決責任者など説明しております。苦情要望については、課内の連絡会、法人の経営会議、第三者委員会でも取り上げ、対応した結果についても評価しています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか			1		今回は初めてです。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	1				
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	1				マニュアル、規程は整備されていますが、保護者総会などで周知する機会を設けていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1				防災訓練は年2回実施しています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	1				
	23	事業所の支援に満足しているか	1				お子さまとの関わりの中から、出来る事を増やしていきたいと思っております。

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。